

第8回 都子さんメモリアル 愛とヒューマンのコンサート

2008年9月7日(日) 13:30 ~ 新川文化ホール

主催：都子さんメモリアル愛とヒューマンのコンサート実行委員会

後援：富山県、魚津市、魚津市教育委員会、森のゆめ市民大学、都子基金

プログラム

第1部

ヴァイオリン & フルート & ピアノ

松本克巳 石井陽子 相馬泉美

愛と哀しみのソナタ
微笑む三つの薔薇によせて

川崎絵都夫 作曲
川崎絵都夫 作曲

混声合唱

合唱団「SATOKO」
指揮 川崎祥悦
ピアノ 宮本則子

海の詩
思い出は空に
あなたの心に
祈ろう心こめて
山のいびき

清水汎平 作詞 川崎祥悦 作曲
秋葉てる代 作詞 川崎祥悦 作曲
坂本(大山)都子 作詞 川崎祥悦 作曲
きくよしひろ 作詞 川崎祥悦 作曲
松前幸子 作詞 川崎祥悦 作曲

第2部

フルート & ピアノ

石井陽子 相馬泉美

精霊の踊り
ハンガリア田園幻想曲

グルック 作曲
ドップラー 作曲

ヴァイオリン & ピアノ

松本克巳 相馬泉美

シャコンヌ
ロマンス ヘ長調

ビターリ 作曲
ベートーベン 作曲

ヴァイオリン & フルート & ピアノ

松本克巳 石井陽子 相馬泉美

ヴァイオリン フルート ピアノによるせりこみ蝶六

中原達彦 編曲

《都子基金》 民事裁判の結果オウムの破産管財人から、都子さんのご両親に支払われた分配金によって、設立された団体です。宇都宮健児・川人博の両弁護士を顧問として、都子さんの友人達によって、堤さん、都子さん夫妻が願っていたことの実現のための活動を続けています。

二つの追悼曲について

作曲家 川崎絵都夫

愛と哀しみのソナタ 親友である今野強 松本克巳両氏から遺体発掘から半年後の96年春に、秋までの期限で委嘱を受けました。衝撃、怒り、かなしみで作曲が進みませんでした。あるとき形見となった楽器のヴァイオリンとフルートに会わせてもらいそれを奏でてみました。夫妻に会えた思いがしました。

第一楽章・祈り。第二楽章・怒り、鍵盤にむかって憤怒の思いを叩きつけ、曲間に子守唄を入れました。第三楽章・鎮魂、静寂の中に眠る安らかな影です。これ以上は作れませんでした。終楽章・伝言は3年後に書きました。

微笑む三つの薔薇によせて 「悲しんでばかりいてくれるな、二つの世で共に生きているのだ」坂本さんたちはこのように思っているのでは？ だから元気が出る追悼曲をと、数年を経て同じく両氏からの委嘱です。夫妻が願った社会正義の確立、弱者が堂々と暮らせる社会、戦争のない社会を、三つの薔薇と三人の姿に重ねました。

精霊の踊り グルック 1714～1787

ギリシャ神話を元にした歌劇の中で奏でられるフルートの名曲。都子さんの姿と重ねてしばしば奏でられる曲です。

ハンガリア田園幻想曲 ドップラー 1821～1883

中学からフルートを学び市民オーケストラ奏者だった都子さんは、きっとこんな難曲にも挑戦したかったでしょう。それぞれの慰霊地に広がる田園風景に出会う度に、この調べが吹き渡る思いがします。

シャコンヌ ピターリ 1663～1745

シャコンヌとは緩やかで荘重な三拍子のリズムを特徴とする変奏曲です。松本克巳氏がヴァイオリンを学び始めてしばらく経った頃、あまりに美しいこの曲に衝撃を受け「この曲を弾けるようになりたい」と、練習に励んだそうです。今日の松本氏を生んだ因縁の曲です。

ロマンス ヘ長調 ベートーヴェン 1770～1827

正しくはヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス第2番ヘ長調。1798年作曲。瑞々しいベートーヴェンの思いが抒情的な旋律美に込められた作品です。ロマンスの名のつくクラシック曲の中で、世界でもっとも知られている一曲です。

文 今野 強

演奏者のプロフィール

松本克巳（まつもと かつみ）

ヴァイオリン

日本フィルハーモニー交響楽団第一ヴァイオリン奏者。1953年、山口県宇部市生まれ。関西学院大学理学部を卒業後、高校の生物教師を経て1980年日フィルに入団。当時東大在学中の坂本堤さんや結婚前の都子さんと出会い、意気投合する。坂本弁護士事件以降、一家の救出および追悼のための演奏を続けている。2000年以降、カザルスホールや東京文化会館でリサイタルを開催。コンサートホールだけに留まらない視野の広い丹念な演奏活動は高く評価されている。



石井陽子（いしい ようこ）

フルート

ヴァイオリニスト石井啓一郎、ピアニスト石井啓子夫妻の長女として東京に生まれる。東京芸術大学を優秀な成績で卒業。在学中から演奏活動を開始し、坂本弁護士一家の追悼演奏会など様々なイベントにも出演。2003年にすみだトリフォニーホールにて初リサイタルを開く。デビュー以降、全国各地において繰り広げているソロコンサートで清澄な音色が生み出す音楽は多くの聴衆から絶賛を受けフルート界の歌姫として期待されている。

相馬泉美（そうま いずみ）

ピアノ

青森市出身。3歳よりピアノを始める。東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学研究生ピアノ伴奏コース修了。1990年ピティナピアノコンペティション G級全国大会入選他、賞多数。1993年よりリサイタルを行う。これまでオーケストラとの共演、楽器や声楽のリサイタルでの共演、ピアノデュオなど数多くのコンサートに出演している。1994年より東京音楽大学にて後進の指導に当たっており、現在同大学ピアノ科非常勤講師。



作詞 坂本(旧姓大山)都子
作曲 川崎祥悦

「あなたの心に」

赤い毛糸に

だいだいの毛糸を 結びたい

だいだいの毛糸に

レモン色の毛糸を 結びたい

レモン色の毛糸に

空色の毛糸も 結びたい

青い空と

深い緑の森を 結びたい

結びたいんだ

このまちに生きる

ひとりひとりを

結びたいんだ

私の思いを

あなたの心に

のフレーズは作曲上の視点から略させていただきました(川崎)

僧ヶ岳の慰霊碑に刻まれている詩では、「青い空、深い緑」の部分が省略されています。「周囲の風景と余りにもぴったり一致して、見るたびに切なくなる」との御両親の意向によります。



合唱曲「あなたの心に」は第4回のメモリアルコンサートで初演されました。川崎祥悦先生が都子さんの詩に深い共感をもって作曲され、会場に駆けつけて指揮をとられました。

都子さんは、大学に入学した年の夏、過疎地でのワークキャンプに参加しました。その後、仲間たちとの絆を強めることを願って書かれたのが「赤い毛糸に」の詩です。

人それぞれの思い、人それぞれの生き方を尊重しあうことで人間の社会が成り立っている。人と人が心を通わせ手を結んでいくことなしには社会は変わらない。そんな都子さんの生き方を象徴的にあらわす言葉として「赤い毛糸」の詩が慰霊碑に刻まれました。

今年作曲者の川崎先生を迎え、有志の合唱団「SATOKO」が心をこめて歌います。

【作曲家の紹介】



川崎祥悦(かわさき・しょうえつ)

1932年、青森県生まれ。1955年、東京芸術大学作曲科卒業。作曲およびピアノの演奏活動をつづけながら、1960年からは教科書の編集にたずさわる。音楽教育を天職と思って、その充実と発展に力を注ぐ。合唱曲「山のいぶき」「思い出は空に」をはじめ、市歌、校歌など数多くの作品で知られる。2004年、都子さんの詩をもとに「あなたの心に」を作曲。なお、追悼曲を作曲した川崎絵都夫氏はご子息である。

オウム真理教と坂本事件

麻原彰晃（本名・松本智津夫）は1984年（昭59）、密教・ヨーガを修行し、空中浮揚など超能力を会得するとして「オウム神仙の会」を発足させました。

87年（昭62）には「オウム真理教」と改称、麻原が教祖の座に君臨。やがて「最終解脱者」と自称し、ハルマゲドン（世界最終戦争）からこの世を救うメシヤと豪語します。

89年（平1）には東京都から宗教法人に認証され、やがて山梨県上九一色村を拠点に“独立王国”を築きます。しかし、出家の際の高額のお布施や信者と家族の切り離しで被害者の会も出来ます。坂本堤弁護士が相談に応じ、教団と激しくわたり合うこととなります。

「坂本を消せ」という麻原の命令で、同年11月に坂本さん一家が非業の死を遂げますが、神奈川県警の誤った判断でオウム真理教は生き延び、V Xガスやサリンの製造に突っ走ることになります。

やっと94年（平6）の松本サリン事件、翌年の地下鉄サリン事件によって教団の一斉捜索が行われ、オウムの犯罪の全貌があきらかになり、95年（平7）9月、坂本さん一家の遺体も収容されることとなります。



オウム裁判とオウムのいま

オウムは坂本事件や地下鉄サリン事件など13の事件で、麻原ら多数の幹部が起訴され、死刑の判決を受けた者も少なくありません。

麻原は04年（平16）2月、東京地裁で死刑判決を受け、昨年6月、最高裁への特別抗告が棄却され、死刑が確定しました。

裁判の過程で、オウム教団の分裂、解体も進行中です。96年（平8）には宗教法人の解散命令が出され、破産が確定。現在は破産管財人の下で教団財産の整理、被害者への補償が行われました。しかし極めて不十分なために、今年6月の通常国会でオウム真理教犯罪被害者救済給付金支給法が成立。国が被害者に見舞金を支給することになりました。

オウムは2000年（平12）に「アーレフ」と名を変え、02年1月には上祐史浩が代表に就任しました。しかし、脱麻原の上祐代表派と麻原の家族とつながる反上祐派、その中間派と3分状態。上祐派は07年に、「光の輪」という教団をたちあげています。

しかし、多数の信者を惹きつけ、未曾有の犯罪を犯すにいたったオウムの闇の解明は、私たちの課題として重くのしかかっているといるのではないのでしょうか。

今年8月5日、松本サリン事件の被害者で、14年間意識が戻らないまま闘病生活を送っていた河野澄子さん（60歳）が亡くなりました。この事件で、夫の河野義行さんは、警察の初動捜査の誤りとマスコミの過熱報道によって犯人扱いされ、たいへんな人権侵害を受けました。坂本事件に続いて警察とマスコミの過ちがくり返されたのです。

虹からはじまったコンサート

第8回都子さんメモリアル・愛とヒューマンのコンサートにお越しいただき、ありがとうございます。

このプログラムの表紙のタイトルが、わずかに円弧を描き、濃淡がついていることに気づかれたでしょうか。虹を意識したデザインです。

僧ヶ岳林道へ

都子さんを追悼するコンサートが魚津で初めて開催されたのは1999年8月19日です。その前日、慰霊碑へ行きます、と連絡を受けました。慰霊碑の前で鎮魂の演奏をするということです。

実のところ、なぜ弁護士さんの家族と音楽がつながるのかわかりませんでした。市街地を抜けるころにはひどい雷雨になり、あの険しい僧ヶ岳林道へ入れるのだろうか、心配しながら山へ向かいました。

虹がかかった

山道に入るときに雨が上がり、日が射してきました。やがて、鮮やかな二重の虹が現われ、虹の下で演奏が始まりました。都子さんのフルート、堤さんのヴァイオリンを使つての演奏です。

虹がほんとうに間近に見えます。僧ヶ岳の稜線の手前にふんわりと。光の粒々がいっしょに演奏を楽しんでいるかのようでした。

慰霊碑の詩を読んだ時の驚きは形容のしようがありません。魚津の言葉で言うなら「ソボレアガッタ！」となるでしょう。虹色の毛糸に託した都子さんの思いが、そこに刻まれていました。「都子さんが虹になって現われた」と語り合ったものです。



生きた証を伝えたい

はじめは残虐非道な事件に対する怒りでしたが、虹の出現がきっかけになって、都子さんたちの生き方に目を向けるようになりました。ご両親から、詩が書かれた背景を伺い、当時そしてその後の都子さんの生き方を知るにつれ、共感が沸き上がってきます。

事件を風化させてはならない、ひたむきに生きた人たちの生きた証を伝えたい、そんな思いでコンサートを続けています。

お願い 協賛広告やメッセージ広告の提供、当日の受付などの裏方、チケットの販売・などなど、いろいろな形で協力してくださる人を求めています。 連絡先: 0765-23-4316 (事務局・はまだ)

お知らせ 合唱曲「あなたの心に」の楽譜が出版されました。CDも近いうちに発売される予定です。